

広報

第57号



# 日大山形

平成24年10月10日発行

咲き誇れ

我らが未来



1年生によるモザイクアート

# 桜華祭

桜華祭が、九月一日・

二日行われた。中学生の花笠踊りが披露された後、桜華祭実行委員長斎藤森君「『Go And Go!!』三万人が作り上げた五十万回目の挑戦です。先輩方が築き上げた伝統を踏まえて、より楽しいより盛り上がる桜華祭を目指して進んでいこう。」との開会宣言で始まった。会場には、「桜の花びら」に託した全校生の将来へのメッセージがあり、そこには「日大合格」「レギュラーを取るぞ」というものから「身長\*cm UP」や「ベニスに死す」のロケ地をめぐる」といった微笑ましいメッセージがあった。



ひまわりの出現 ~約900枚の台紙を張り合わせる~

また、一年生のゴッホの「ひまわり」を模した巨大モザイクが、第二体育館の壁面に飾られた。



FM山形JORIさんの取材を受ける(裏表紙をご覧ください)

との大切さを語った。

一・五cm角に切った折り紙をB4の台紙に張り、計九百枚の台紙をさらに一つに張り合わせたものである。

発表では、演劇部の「開かない扉」と題した、新田飛鳥君(二年)の創作劇が、リアルな高校生活を描き感動を誘っていた。フリーステージでは、マイケルジャクソンのパフォーマンスも見られた。特別文化講演も行われマジシャンのナカノマクレーン氏が「夢が生まれる魔法」と題して夢を持つことの大切さ、今の自分から少しでも変わるこ



多くの入場者でにぎわう

従来の桜華祭とは、趣を異にして一日だけの一般公開であったが、充実した内容であった。

## 平成二十四年度

# 特待生の紹介



### 日本大学付属高等学校

特待生(高校・中学)

日本大学付属高等学校

特待生規程に基づき、学業成績・人物が優れた生徒。

### 高等学校

柏倉 隆史(大江中)

三好 藍子(東根一中)

山元 彩可(山大附中)

村松可奈子(日大山中)

### 中学校

伊藤 智博(山形一小)

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学金給付規程に基づき、学業成績又は入学試験の成績が優秀で人物が優れ健康である生徒。

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学金給付規程に基づき、学業成績が優秀で人物が優れ健康である生徒。

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

日本大学山形高等学校・中学校奨学生

片桐 悠登(山形十中)

小関健太郎(中山中)

阿部 葉生(天童二中)

名和明佳里(東根一中)

千葉 聡己(玉野中)

大泉航太郎(山形十中)

### 中学校

清野結友子(上山南小)

梅津なごみ(新庄沼田小)

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生

# 部活動報告

## 運動部

### 全国高等学校総合体育大会

張崎 正成(山形一中) 出場  
 男子単独演舞 出場  
 三部 諒太(山形七中)

### ボクシング部

バンタム級 出場  
 佐藤 徹駿(陵南中)

### 水泳部

男子二〇〇Mバタフライ 出場  
 佐々木 友(天童中)  
 男子八〇〇Mリレー 出場  
 奥山・佐々木・遠藤・高橋

女子五〇〇M自由形 出場  
 女子一〇〇M自由形 出場

女子四〇〇Mリレー 出場  
 澁井・黒田・齋藤・安達

### 男子テニス部

団体 出場

女子ハンドボール部 出場

### 新体操

個人総合 出場  
 クラブ・リボン 出場

国井 麻緒(山形六中)

### 全国大会

#### 少林寺拳法部

男子組演舞 出場  
 横川 玲雄(山大附中)

### 国民体育大会(夏季大会)

少年B五〇〇M自由形 7位  
 同一〇〇M自由形 6位  
 澁井 柚実(巨大山形中)  
 少年B四〇〇Mリレー 8位  
 東北新記録  
 澁井 柚実(巨大山形中)  
 黒田 莉央(米沢三中)

### 東北大会

#### ボクシング部

ライトフライ級  
 川合 丈(山形三中)

#### 馬術部

トライアルジャンプI 優勝  
 井上 永久(金山中)  
 トライアルジャンプI 4位  
 高橋栄里花(天童一中)  
 トライアルジャンプII 2位  
 井上 永久(金山中)  
 トライアルジャンプII 5位  
 高橋栄里花(天童一中)  
 少年馬場馬術 2位  
 鈴木 紗絢(巨大山形中)

水泳部  
 男子一〇〇M自由形 6位

男子二〇〇M自由形 5位

奥山 翔太(山形五中)

男子一〇〇Mバタフライ 6位

男子二〇〇Mバタフライ 3位

佐々木 友(天童一中)

男子四〇〇Mリレー 8位

奥山・佐々木・遠藤・高橋

男子八〇〇Mリレー 4位

奥山・佐々木・遠藤・高橋

男子四〇〇Mメドレーリレー 6位

佐々木・片桐・遠藤・奥山

女子五〇〇M自由形 優勝

女子一〇〇M自由形 優勝

澁井 柚実(巨大山形中)

女子二〇〇M自由形 4位

女子四〇〇M自由形 6位

安達 雪鈴(山形五中)

女子八〇〇M自由形 6位

黒田 莉央(米沢三中)

女子四〇〇Mリレー 優勝

澁井・黒田・齋藤・安達

ラグビー部 7位

男子バレーボール部 優勝

東北私学大会

山形県総合体育大会

男子バスケットボール部

ベスト8

ボクシング部

学校対抗

ピン級

坪沼 智真(山形十中)

ライトフライ級 2位

川合 丈(山形三中)

ライトフライ級 3位

佐々木智浩(上山南中)

バンタム級 1部 優勝

佐藤 徹駿(陵南中)

バンタム級 2部 優勝

大泉 拓末(陵東中)

ライト級 3位

阿部 佑哉(山形十中)

石井 大雅(山形六中)

ライトウェルター級 2位

岡澤セオン(山大附中)

菊池丈仁郎(天童二中)

ウエルター級 3位

石沢 成人(山形六中)

飛塚 佑輝(山形二中)

ミドル級 2位

齋藤 絵夢(大江中)

増淵 浩太(蔵王一中)

ミドル級 3位

笠島 隆(巨大山形中)

サッカー部 3位

男子バレーボール部 3位

男子テニス部 優勝

団体

男子ハンドボール部 3位

ラグビーフットボール部 3位

少林寺拳法部 2位

男子組演舞

横川 玲雄(山大附中)

張崎 正成(山形一中)

男子単独演舞 2位

三部 諒太(山形七中)

女子バレーボール部

ベスト8

女子テニス部

団体

シングルス

ベスト8

鬼島紗友美(山形六中)

高内 麗(山辺中)

高内 麗(山辺中)

佐藤 千晴(中山中)

ダブルス 3位

高内 麗(山辺中)

高内 麗(山辺中)

ダブルス 3位

ダブルス

片桐 章太(天童四中)

サッカー部

天皇杯山形県予選 優勝

男子バレーボール部

山形県私学大会 2位

ゴルフ部

山形県高等学校・中学校

ゴルフ選手権 優勝

今野 一成(山大附中)

吉田 拓也(長井南)

菅原 浩大(長井南)

書道部

山形県民ふれあい書道展

新庄市長賞

木村 香菜(山形十中)

読売新聞社賞

吉永 汐里(山形十中)

山形美術館長賞

山田 千尋(山形六中)

NU祭絵画・書道展

日本大学校友会長賞

木村 香菜(山形十中)

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール

山形県大会

銅賞

ダンスドリル部

全国高等学校ダンスドリル

選手権大会全国大会

ノヴェルティ部門 2位

ミリタリー部門 出場

柔道部

全日本ジュニア柔道体重

別選手権 55kg級 2位

文化

書道

吹奏楽

ダンス

柔道

文化

# 体育祭



今年も恒例の体育祭が、七月十二日・十三日の両日に渡り、各学年とも男女クラスマッチ形式で開催された。クラス独自のTシャツを身にまとい、選手と応援団が一体となり、クラスの名誉のため戦っている勇姿は、まさに青春真っ只中の高校生であり、諦めず戦う姿に無限の力を感じた。

## ▼一年(山形県体育館)

- バスケットボール  
 (男子)優勝 九組  
 二位 十二組  
 三位 七組・二組  
 (女子)優勝 八組  
 二位 六組  
 三位 七組・三組

## ▼三年(山形市総合スポーツセンター)

- バスケットボール  
 (男子)優勝 六組  
 二位 九組  
 三位 十四組・十二組

## ▼二年(本校体育館)

- バレーボール  
 (男子)優勝 二組  
 二位 一組  
 三位 十組・十一組  
 (女子)優勝 三組  
 二位 十二組  
 三位 八組・十一組

## ○バスケットボール

- (男子)優勝 十組  
 二位 十二組  
 三位 七組・五組  
 (女子)優勝 四組  
 二位 六組  
 三位 七組・五組

## ○バレーボール

- (男子)優勝 六組  
 二位 二組  
 三位 一組・四組  
 (女子)優勝 四組  
 二位 五組  
 三位 九組・十組

## ○バスケットボール

- (男子)優勝 六組  
 二位 九組  
 三位 十四組・十二組



- (女子)優勝 一組・二組合同  
 二位 十組  
 三位 五組・八組  
 ○バレーボール  
 (男子)優勝 二組  
 二位 四組  
 三位 十組・二組  
 (女子)優勝 三組  
 二位 一組・二組合同  
 三位 十一組・六組

# 芸術鑑賞会

# STATE BRASS



去る六月七日にブラサンサンプルのSTATE BRASS(ステイト・ブラス)をお招きして、本年度の芸術鑑賞会が、山形市民会館大ホールで行われた。

このSTATE BRASSは世界的ソロトランペッターのアンドレ・アンリ氏とマルチナ才能を持つ郡恭一郎氏を中心に、日本のプロ金管楽器界をリードする、超実力派のメンバーで構成されているブラサンサンプル(金管十重奏)である。

この日は、「カルメン」や「ティコティコ」、「ブラジル」など、クラシック作品からラテンやジャズ作品まで幅広い楽曲を演奏した。前半は古典作品からトランペット独奏やトロンボーン独奏を披露し、後半には一転し、照明を変えたりパーカッションを加えたりし、ラテンやジャズの名曲を高いレベルで披露した。曲目にはAKB48のメド



レーもあり、生徒は手拍子で演奏に励み、楽しんでいった。

また、「指揮者体験コーナー」もあり、立候補した生徒がステージに上がりジブリアニメ「トトロ」を指揮した。演奏者たちは生徒がどんなテンポで指揮してもそれに合わせ演奏したため会場からは驚きの声上がり、指揮の生徒も踊りながら指揮で笑いが会場を包んだ。日頃触れる機会の少ないプロの管楽器の演奏を間近にし、生徒は輝かしい迫力のあるブラスサウンドに感動することができた。

平成24年度  
ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ  
付属校生のサマープログラム 研修報告

三枚の写真の思い出 二年 田中葉月(日大山中)



中央が田中さん

Welcome party

ケンブリッジの先生、そしてPAの皆さんから歓迎パーティを開いて頂きました。ケンブリッジ大の学生が卒業の時に着



新聞紙のファッションショー

Newspaper Fashion Show

PAアクティビティの一つで、五つのグループに分かれ、新聞紙だけを使い衣装を作り、クオリティを競い合いました。

る黒いガウンも着せてもらい貴重な体験となりました。パーティはキャンパス内の、綺麗な緑の芝生の上で行われ、野外でパーティなど経験が無かった私にとって、本当に新鮮でした。天気にも恵まれ、これから始まるケンブリッジ生活に胸が高まった時間でもありました。PAの五人ともこのパーティを通して仲良くなれました。すべてが最高の思い出です。

中でも着物や浴衣、甚平の作品はPAが一番興味を持ってくれて、日本の和服を紹介する良いチャンスにもなりました。また、衣装の説明はグループ毎全て英語で行い、英語の方も少しずつですが上達出来たのではないかと思います。そして日大の付属生達ともこのFashion Showを通じて親睦を深めることができ、本当に良い経験になりました。

全国の日大付属校からの代表生徒五十名が今年もケンブリッジ大学で七日間の研修を行った。先生方や、大学生のPA(プログラムアシスタント)達により様々な授業、課外活動が用意されていて、充実した毎日だったようだ。今年のイギリスは



美しいキングズカレッジ

King's College

ケンブリッジ大の中で最も美しいと言われているカレッジです。イギリスは日本と違って芝生の管理が徹底されていてと

ても綺麗でした。この建物の

物の中もステンドグラスや天井など何を見ても細かいところまで細工がしてあり、感動しました。どれも写真では表しきれない美しさで、私は心の中できつたシャツターを一生忘れないようにしたいです。またいつか……何年後になるかはわかりませんが、またあの美しい街へ帰ろうと思います。 I'll be back!!

ケンブリッジの三枚

二年 新田飛鳥(日大山中)



右から2番目が新田くん

校外での学習

最初の写真は、ケンブリッジからバスで二時間ほど離れたイリーイという街の時計塔です。イギリスには山がないので、その塔からはケンブリッ

ジの街も見えました。広大な小麦畑に青空が映えて美しかったです。このイリーイの見学学習もそうですが、普段の授業も日本の高校の授業より楽しくためになりました。私は英語が得意でないのですが、わからない単語、文法、そして文化についても、先生方が分かりやすく教えてくださいました。もっと長くこのプログラムに参加したいと思いました。

オリンピックで盛り上がっている真っ只中。ロンドン見学はできなかつたが、ケンブリッジでも店にオリンピックグッズが並んでいたという。本校からの2名の参加者に、3枚の写真から報告を綴ってもらおう。



窓からの風景

日本との違いを実感

この写真はロンドンの空港からケンブリッジに向かうバスからの一枚です。イギリスの国土面積は日本と同じ位ですが、

山が無い分耕地がとても広いです。また、日本より高緯度なため、午後九時頃でも空が見えます。他に日本と違う点は、水が硬水だということです。軟水との違いは石灰の量だそう。この水は私にとっては不味かったです。洗濯すれば髪が変色し、頭を洗えば髪がゴワゴワになりました。しかし、研修後半ではすっかり慣れておいしく飲めました。



フィッシュ&チップス

イギリスの食べ物

これは有名なフィッシュ&チップスです。おいしかったです！これは外で買ったものですが、研修期間中は主に大学の学食のものを食べていま

した。それも大変おいしかったです。しかし、学校の近くのすしバーに行ったのですが、少し固く少し黒い酢飯、発泡する有料水、二貫三百五十円の値段設定。日本のすしとは大違いでした。ちなみにその時のお会計は一人二千八百円でした。少し日本が恋しくなりました。食生活は全体的には、たまにハズレはありましたが、イタリア料理などもあり、おいしかったです。

中学校

ブリテイッシュヒルズ研修



五月二十四日から二十六日の二泊三日、ブリテイッシュヒルズ研修

を三年生と二年生が合同で実施した。三年生は「ハワイ修学旅行の事前学習」を目的とし、仲間同士が助け合って、積極的にレッスンに取り組んだ。また、二年生は「異文化体験」を目的に学んできた英語が実際に役立つことに感激しながら、Cooking&Pub Gamesなどのレッスンを楽しんでいた。

◎生徒の作文より

三年生

◆授業はすべて英語です。ちゃんと話を聞いていないと次にすることが分らなくなってしまう。すべてはわかりませんが、なんとか理解することができました。意味が分かったときはとても嬉しかったです。



◆一番楽しかったのは、シード先生のマナーの授業だ。ゲームでの授業は盛り上がり、テンションが上がった。先生も面白く、いい授業になったと思う。

二年生

◆ディナーの時、私の席が先生で、最初はなかなか話せなかったけれど、誰かが話しているのを聞いて、自分も話してみよう！と思い、声をかけてみました。するとやさしく答えてくれました。勇気を出して話すことが大切だと思いました。



◆一番勉強になったのはカリグラフィード。最初は、こんなに上手く書けるわけないと思っていたが、ほんの一時半の授業だけで、自分でも驚くほどきれいな飾り文字がかけられるようになったのがうれしかった。



卒業生・吹奏楽部。保護者に支えられて「花笠まつり」

夏休み前の七月十七日の「花笠の結団式」を受けて、縦割り男女それぞれ四班のチームが結成された。今年度から生徒募集停止により、生徒が二・三年を合わせても三十数名の練習である。その状況を心配した卒業生や保護者の方々の参加や高校吹奏楽部の協力もあり立派な隊列ができた。

初心者のいない生徒の練習を少し軽減し、保護者にも練習に加わっていただいた。高校生は補習授業の合間に練習参加。また、吹奏楽部は大半が初心者であるが、中学生に迷惑をかけまいと、本校卒業生部員の指導で猛練習をして総練習に加わった。八月六日本番、中学生に続き卒業



生、吹奏楽部、教員チームと「笠回し」の保護者が、その後ろには「正調花笠」の保護者が整列した。お揃いのTシャツと吹奏楽部の「魂」のTシャツに黄色の襟とピンクの鉢巻の波が美しいうねりを見せる。「ヤッショ、マカシヨ日大中！」沿道からの拍手や「がんばって！」の掛け声も励みだ。ゴールの文翔館を目指して精一杯の笠が舞う。踊り終えた時には、どの顔も心地よい疲れの中に確かな達成感と充実感に輝いていた。

充実の職場体験学習

キャリア教育の一環として、二年生が去る八月二十一日から二十三日の三日間の体験学習を行った。四月二十一日の「働く目的を探る」を皮切りに、八月二十日の「実習日誌の書き方」、「緊急時の対応の仕方、礼状の書き方」まで計四回の学習を踏まえて体験学習に入った。これまでの学習活動、また昨年に先輩たちの経験を聞いていることもあり、余裕のある気持ちで臨めたのではないかと思う。結果



的に事故や病気もなく全員が充実、そして貴重な体験を得た。短期間ではあったが、「働くこと大変さ、そして意義」を中学生の感覚で感じ取ってくれたことと思う。感想文には「両親の大変さがよくわかった」、「笑顔の大切さがわかった」、「小さな一つの作業でもいいねいに一生懸命取り組むことの大切さがわかった」等々多くの驚き、感動の内容があり今年も先輩同様有意義な体験活動であった。

体育祭・桜華祭での新たな挑戦

今年度の体育祭は七月十二日・十三日に行われた。四チームに分かれ、初日は西公園でリレーと駅伝、二日目は南部体育館で大縄跳びと球技大会（男子フットサル、女子ドッジボール）を行い、全種目の合計点数で順位を競った。二日間四種目という今までにない体育祭であったが、初日の雨の中でのリレーから応援する声飛び交い大いに盛り上がりを見せた。大縄跳びでもチ



ム毎に練習から息を合わせ、一〇回を跳んだチームもあった。桜華祭では出店のかき氷・芸術展・ハンズオン発表の他、開祭式のオープニングセレモニーとして花笠踊りを披露した。周到な打ち合わせと練習によって臨んだ甲斐あって自信をもって堂々と踊り、八月の花笠パレードそのままの熱気と華やかさを体育館で再現することができた。

中学校

**JRC愛好会  
海外活動報告**  
三年 菅 桂輔  
(山形六中)

八月八日から八月十三日の五泊六日、県代表の高校生メンバー五名でカンボジアへ行きました。私たちは、カンボジアで、小学校に学用品セットを渡す活動、現地の高校生メンバーとの交流を主に行いました。

今回、カンボジアの小学校の子供達に渡した学用品セットは、書き損じハガキを回収し、換金したお金で購入したものです。私は、書き損じハガキの回収活動を約二年間行ってきました。

回収の協力をお願いした際には、県内の企業や学校が協力して下さり、沢山の書き損じハガキを集めることが出来ました。書き損じハガキで得た学用品セットを子供達に贈るとき一人ひとりが手を合わせて『オーケン』とクメール語でありがとうと言って受け取ってくれました。私は、カンボジアの子供達が喜ぶ姿を見て、今までの活動がたくさんの笑顔や喜びに繋がる活動で、それに携わ

て本当に良かったと思えました。

山形県の高校生が、カンボジアへ学用品セットを贈る活動は、二年前の活動と合わせて、また二回目。この活動が後輩たちに引き継がれた皆さんのカンボジアの子供達の幸せに繋がるきっかけになることを私は願っています。

私は、カンボジアで大きな経済格差や生活への必死さ、地雷の悲惨さを見てきました。日本の私たちの生活はとても安全で、便利で、幸せなことなのだと思えました。また支援が必要な状況なので、これからも後輩たちにはこの活動を続けて欲しいと思います。

最後に、この活動に関わり協力して下さいました山の人に感謝します。本当にありがとうございます。



学用品を贈ったファン・セン・アンジャン学校

**海外研修報告**

**新たな発見  
ポンペイ世界遺産**

地歴・公民科教師  
島津 宏道

海外研修の機会に恵まれ、欧州四か国(ドイツ、フランス)を研修させていただきました。本稿では今回特に印象に残ったポンペイの遺跡について紹介します。

ポンペイはローマ帝国時代栄えた都市で、劇場、神殿、公衆浴場、商店などが居並ぶ。水道や舗装道路なども整備されており、ローマ人の保養地として別荘もできた。七九年八月二十四日午前、ヴェスヴィオ山が大爆発を起こし、火砕流が発生した。その後、降り続く火山灰が積み重なって、街を埋もれさせた。埋もれた街は人々から忘れ去られ、一六三〇年間眠り続けることになった。一七〇九年、一人の農夫が偶然にも壺を掘り起こした。それがきっかけで街そのものが発見された。一九二七年以降、組織的な発掘が開始され、公共建築や住宅の跡などが発見された。

その中でも興味を引いたのは、サウナや入浴設備のある運動施設。今でいうところのフィットネススクラブであろう。驚くのは、脱衣所、サウナ、冷水室、温浴室などと、部屋が奥へ続いているこ

と。もちろん、すべて男女別。脱衣所には、裸いだ衣類などを入れている。奥に進むとサウナ室になっている。運動場を含む全室が床下暖房になっていたというから、またまた驚き。浴槽は大理石づくり。とても綺麗なもので、今でもお湯を張って入浴できそうな状態だ。入浴槽の反対側には丸い水飲み場(写真)があり、真ん中から泉の水が湧いてきたらしい。大理石でできた豪華な鉢の縁には、これを寄贈した人の名前が刻んである。二次の選挙でも、どうぞわたしの名前をいこうと書いてあるのだとか。なにやら現代の政治家と、やる事が似ているようにも思える。ところが、汚らわしい存在とは人々は考えていなかったようだ。

同じ人間として認めていたため、同じ浴場を使うことに抵抗がなく、夜遅くには同じ共同浴場に汗を流しに行っていたという。奴隷制度の是非は別として、そんなポンペイ人のおおらかさがわたしは好きだ。

そんな平和な暮らしをわずかに一日で崩壊させたヴェスヴィオ火山の怒り。自然の驚異はかくも残酷なものか。ポンペイの人々が日々往來した道を歩きながら、街と命運を共にした人々のことを想った。



浴槽の反対側の水飲み場

**科学者の情熱**

理科教師(物理)  
森谷 英治

七月二十五日、八月八日まで二十五日間、海外研修としてイタリアとスイスを訪れた。授業で物理を教える中で、ただ教科書の中の公式や現象を教えるばかりではなく、その公式や実験が生まれるまでのドラマや物理学者の苦悩、物理学と宗教の対立などの科学史を生徒たちに伝えたいという思いは数年前から持っていました。今回、その分野のごく一部ではあるが調査する機会を得ることができた。多くの場所を見て回ったが、一番印象に残ったのはガリレオ・ガリレイに関するものであった。

世の中一般的なピサといえは斜塔だが、私の中ではガリレオであり、ガリレイの家(今は不動産屋がテナントが入っている)を観光的なものはない。観光的なものは何もない。訪れ感慨深く見つけた。建物の外観写真を撮っている人々が、私を見つめていた。ちなみに、ガリレイの父の生家も探した。同様のことが起きた。十二世紀頃からアリストテレスの体系とキリスト教を結びつける知的活動が盛んになり、世の中の常識として認識された物事に疑いを持ち、真実を求めたい男のスタト土地。また、スイスでは欧州

原子核研究機構(CERN)を訪れた。過日『神の粒子』と呼ばれるビッグス粒子を発見した研究所でお祭り騒ぎになっていた。ことを予想していたが、そのような様子は全くなく、今は淡々と話していた。CERNを訪れたことは、多くの国の研究者が利益を目的とせず、探究心と情熱をもって日々研究生活を送っていることを、個人ではなくチームとして働かなければならないことを感じた。また、英語は話せる、読めるは当然であり、これからは『地球』が活動の場になることを確信した。



昔も今も科学者は情熱を持って物事に取り組み、個人利益を優先させない。優先にはしていない。我々は今、生活の中でも個人利益を優先させている風潮がある。どれが正しいかは人それぞれ。個人としては『情熱』を最優先に仕事をできるような人がかっこいいと思う。生徒たちにもそのような人になって欲しいと考える。

字数が限られており、まだまだ報告したい部分もあるのだが、その部分は生徒に伝えていきたい。

# 学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

	期 日	会場及び時間
第1回	平成24年 10月14日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回	10月21日(日)	説明会(第一体育館) 10:00~11:40
第3回	11月18日(日)	以下は希望になります。
第4回	12月2日(日)	個別相談 11:40~
第5回	12月16日(日)	校舎見学 11:40~12:10(予定) 部活動見学 11:40~12:30(予定)

- 上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、ご連絡なくお電話の上ご来校ください。
- 部活動見学については、学校説明会前にお問い合わせください。【担当/小笠原、渡部】

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明を致します。

※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

小形利彦高校教頭の定年により、九月一日より中村薫中学校教務主任が高校教頭に就任した。中村薫教頭は、本校出身で、日本大学文学部国文学科を卒業後、佐野日本大学高等学校を経て本校に赴任した。生徒会指導副主任、中学校教務主任を歴任した。



中村 薫 教頭  
国語科

## 新高校教頭紹介

## フォト・ア・ラ・カイト



壮行式



体育祭



体育祭



体育祭



芸術鑑賞会

## 日大山形ハイスクールレポート

# Be Ambitious

リポーターのJORIが日大山形高校に突撃取材！  
学校内での出来事や部活動の活躍などを、  
生徒や先生にインタビューします。

FM山形 (80.4MHz)

毎週金曜日 17:55~17:59



桜華祭



桜華祭



桜華祭

二〇一二年ロンドンオリンピックの金メダル一号で始まった。連日寝不足になるほど楽しんだ。特に感動したのは卓球女子団体の銀メダル・なでしこ女子サッカーの銀メダル・競泳四〇〇メートルリリーの銀メダルである。「康介さんを手ぶらで帰すわけにはいかない」と思ったの絆の強さを感じた。また、日本女子の強さを再認識した。日本は史上最多の三十八個のメダル(国別一位)を獲得した。今年八月の日本の平均気温は、平年より一・三度高く、戦後三番目の暑さだった。県内でも平年よりも高温で、日照時間がかなり多く、降水量は極端に少なく、懸念されているダムが多くある。供給電力量も減っている。また、夏果物にも影響が出ている。日焼けし、茶色に変色しているリンゴもあり、出荷ができないと嘆いている農家もある。我家の柿もその影響を受け、毎年楽しみにしている甘柿をおいしく頂くことができず空を眺めている。しかし、受験生たちは、この暑さにも負けず、志望校をめざして頑張っている。

## 編集後記

日本大学山形高等学校・中学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇二三一六四一―六六三二(代)  
FAX 〇二三一六四一―六六三四  
URL <http://www.ymgf.hs.nihon-u.ac.jp>  
印刷 (株)大風印刷  
写真提供 (有)カメラの石山